

**2 目標達成計画**

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

※ 「1 自己評価及び外部評価結果」を評価機関から受領した時点で、3「サービス評価の実施と活用状況(振り返り)」と併せて作成します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	8	市内グループホームの職員間の交流が少ない。	同業者間の職員同士の交流の機会を確保し、勉強会などを設け、サービスの向上を目指す。	職員同士の交流の場を設けるにはコミュニケーションを取れる様に他施設の職員に行事などに来ていただき、また、他の施設を訪問出来る様に積極的に働きかけを行う。	12ヶ月
2	12	年々、利用者の加齢に伴い重度化しており、入所時はターミナルケアに関する考えを伝えているが再度、確認し、説明する必要がある。	重度化や終末期のあり方について再度確認し、同意を得る様に文書等の整備を行う。	重度化した時の指針や看取り対応の指針をご本人、ご家族の意思を尊重しながら、文書の作成を行う。	6ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。なお、挿入した際は、印字状態を必ず確認して下さい。